

公共ホール音楽活性化事業
(おんかつ)

Artists Profile

2025・2026

登録アーティスト プロフィール



一般財団法人 地域創造
Japan Foundation for
Regional Art-Activities

目次

はじめに	1
事業の枠組み	2
アクティビティ&コンサート	3
事業の流れ	4

<アーティストプロフィール> (順不同)

三原 未紗子〔ピアノ〕	6～7
鈴木 舞〔ヴァイオリン〕	8～9
北垣 彩〔チェロ〕	10～11
山崎 由貴〔ユーフォニアム〕	12～13
小野寺 光〔声楽・バスバリトン〕	14～15

はじめに

一般財団法人地域創造では、平成6年の財団創設以来、地域における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりを目的に、地方公共団体等との緊密な連携の下、財政支援、研修・交流、情報提供、調査研究などの事業に取り組んでおります。

その一環として地域創造が平成10年度から実施している「公共ホール音楽活性化事業（導入プログラム）」（以下「おんかつ」。）は、地域の公共ホール等（以下「公共ホール」。）との共催により、地域との交流を図る地域交流プログラムとホールでのコンサートを行うものです。地域創造からは、厳正なオーディションを経て登録されたアーティストと、コンサートの企画制作経験が豊富なコーディネーターを地域に派遣します。

クラシック音楽に馴染みのない方でも親しみやすく、かつ本格的なプログラムを、公共ホールと地域創造が共同でつくりあげます。

このたび、2025・2026年度の2年間、本事業でご活躍いただく5組のアーティストを紹介するプロフィール集を作成いたしました。活動歴や演奏可能なプログラムはもちろん、本事業でアーティストが公共ホールと共にどのような企画に挑戦したいかなど、公共ホールご担当者様が事業を企画される際に参考となるような情報を掲載しております。

多くの公共ホールご担当者様に本冊子をご活用いただき、“おんかつ”の実施をご検討いただければ幸いです。

令和7年4月

一般財団法人 地域創造

事業の枠組み

「公共ホール音楽活性化事業（導入プログラム）」（以下「おんかつ」。）は、地域の公共ホール等（以下「公共ホール」。）とおんかつの登録アーティストが、アイデアを出し合い、その地域ならではのアクティビティ（地域交流プログラム）とコンサートを共同で企画・実施する事業です。

Community & Communication

音楽を活用したコミュニティづくり

おんかつは、アーティストと公共ホールの担当者はもちろん、学校の先生や地域の様々な人々の協力があるはじめて成立します。三者の継続的で親密な関係づくりを通じて、公共ホールの活性化を図り、音楽が身近にある豊かなコミュニティを育てていくこと。それが“おんかつ”の大きな目標です。

Activity

アーティストとの出会いの場をつくる

クラシック音楽の魅力を伝えるには、演奏会の他にもたくさん方法があります。本事業では、普段、クラシックの演奏会へ足を運ばない人に、クラシック音楽やアーティストに興味を持ってもらうための様々な仕掛けを実施します。この仕掛けをおんかつではアクティビティ（地域交流プログラム）と呼んでいます。アクティビティは、いわばアーティストと地域の方々の出会いの場。学校や福祉施設などへの訪問コンサートやワークショップなど色々なケースが考えられ、通常2日間で4回実施します。

Concert

地域に身近なホールで、本格的なコンサートを

おんかつの締めくくりとして、ホールでのコンサートを開催します。アクティビティを通して触れ合った地域の人々に、アーティストが贈る本格的なコンサートです。アーティストの魅力とクラシック音楽ならではの生演奏の醍醐味を十分に堪能していただけます。



あなたの地域に寄りそった
オリジナルの事業を
つくってみませんか？



おんかつは、公共ホールの担当者とアーティストがダイレクトに意見を交換し、企画を組み立てるオーダーメイドの事業です。アイデア次第でアクティビティ&コンサートの可能性は広がります。

アクティビティ & コンサート

地域独自の多様なアクティビティ&コンサートが行われています。これまでのアクティビティとコンサートの一例をご紹介します。

Activity

◆子どもたちとの身近な交流

未来の聴衆となる子どもたちが、クラシック音楽と出会うミニコンサート。音楽室や教室など、アーティストの息づかいが感じられるような小さな会場で開催します。

子どもたちはとても感性豊か。敏感に、ダイレクトに反応します。プロのテクニックと生の音の迫力に、子どもたちから歓声があがる場面も。アーティストも真剣勝負です。



◆病院、福祉施設など対象者に沿ったプログラム

病院、特別養護老人ホーム、特別支援学校など、ホールへ足を運ぶことが難しい方々の所へ出向き開催するコンサート。「元気をもらいました」「こんな楽しいのは久しぶり」などのお声も頂きます。実は、一番音楽を待っている方々かもしれません。

◆雰囲気を変えて

ホワイエや美術館など、ホールとは異なる雰囲気の中で音楽を体感していただけます。「クラシックは堅苦しくって」と“食わずぎらい”の方々に、「食べてみようかな」と思ってもらえるかどうか、アイデアが問われます。

◆参加者と共に表現する

地域の音楽愛好家だけではなく、音楽初心者も誰もが参加できるコミュニケーション重視のプログラム。参加者がプロと一緒に音楽に向き合うことで、音楽の魅力を改めて発見できる場を目指します。

◆他のジャンルとの組み合わせ

絵画や写真、朗読、パフォーマンス、伝統芸能などと演奏を組み合わせたコンサート。これまでには絵本の読み聞かせと演奏を組み合わせたコンサートなどの実績もあります。「こんな事をやってみたい!」というアーティストのアイデアを少し冒険して実現してみる。クラシック音楽の新しい可能性が広がるかもしれません。

Concert

ホールでのコンサートは、アーティストがその技術と想いをかけて、生演奏の醍醐味をお客様に届ける場です。クラシックコンサートの常識にとらわれず、初心者にも、愛好家にも、出演アーティストの想いが一番よく伝わるプログラムをアーティストとホールが共につくります。



事業の流れ

◎ 事業申込み **実施前年度 6月下旬～**

事業実施を希望する公共ホール等（以下「公共ホール。」）は、翌年度の事業申込書を提出します。地域創造は各団体からの申請書類をもとに審査のうえ、「実施団体」を決定（11月頃）します。

◎ 全体研修会／公開プレゼンテーションへの参加 **実施年度 4月**

実施団体担当者は、事業について理解を深めるための研修会に参加します。この研修会では、登録アーティスト*1による「公開プレゼンテーション」が実施されます。ここでのアーティストの演奏やトークを聴いて、実施団体は出演アーティストを検討します。



◎ 企画検討／スケジュール調整 **実施年度 5月～6月**

全体研修会后、アクティビティとコンサートの企画を検討し、アーティストの担当マネジメントと日程を調整します。アーティストがベストの状態で行えるスケジュールを組むことが重要です。

◆ アクティビティ会場との交渉・決定（個別研修までに適時）

地域の学校、福祉施設などアクティビティ会場候補に開催を打診、調整を行います。また、調整を進める中で、地域のキーパーソンなど公共ホールの事業への協力者や、歴史や伝統といった地域資源の再発見を目指します。

◎ 個別研修（現地下見） **事業実施の2～3ヶ月前**

担当コーディネーター*2などがアクティビティ、コンサートの実施予定会場を訪れ、事前下見・打合せなどを行います。実施団体担当者は、担当コーディネーターから事業の円滑な実施のためのアドバイスを受け、事業の進め方を再確認することができます。

◎ 実施計画書の提出 **事業実施 1か月前まで**

個別研修の結果を踏まえ、アクティビティとコンサートの実施に向け、アクティビティ会場、アーティスト担当マネジメント及びコーディネーターなどと相談しながらスケジュール調整、実施計画書の作成などの準備を進めます。

◆ 広報宣伝（適時） 地域内外、マスコミなどにきめ細かく周知を行います。

◎ 事業の実施（アクティビティ&コンサート）

アーティストが4～5日間程度地域に滞在し、アクティビティとコンサートを行います。



（左）アクティビティ ▶
（右）コンサート

* 1 登録アーティスト

全国オーディションにより登録アーティストを決定します（2年に1度）。決定後、登録アーティストは「アーティスト研修会」に参加し、事業の趣旨と概要についての理解を深めます。

* 2 コーディネーター

実施団体ごとに、各分野の専門家からなるおんかつのコーディネーターを派遣し、事業をバックアップします。コーディネーターは事業の企画から準備、当日の運営まで、実施団体とアーティストに対し、事業が円滑に実施されるようアドバイスを行います。実施団体担当者は、随時コーディネーターと相談することができます。

公共ホール音楽活性化事業
(おんかつ)

2025・2026

登録アーティスト プロフィール

み は ら み さ こ

三原 未紗子



©J.Matsuo

▶ジャンル

ピアノ

▶所属マネジメント

新演コンサート／株式会社カモシタピアノ

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-10-3 太田紙興新宿ビル 1階

TEL：03-6384-2498 FAX：03-6384-2483

▶担当マネージャー：

保科淳子・大森ユリカ desk@shin-en.jp (代表)

▶アーティスト在住地

神奈川県藤沢市

▶アーティスト出身地

神奈川県藤沢市

プロフィール

第26回ヨハネス・ブラームス国際コンクールピアノ部門にて優勝。第24回ABC新人コンサート・オーディション最優秀音楽賞。第62回マリア・カナルス国際コンクールにて審査員賞のメダル受賞。グランド・プライズ・ヴィルトゥオーゾ・ザルツブルグ国際音楽コンクール2016第1位。

第12回ルーマニア国際コンクール第1位、日本ルーマニア音楽協会理事会賞。第5回アルコパッサ国際室内楽コンクールにて第2位（最高位）、ポルトガル作品最優秀演奏賞受賞。第7回せんがわピアノオーディションにて最優秀賞。

ソロ・室内楽において多彩に活動し、ソリストとしてユーロシンフォニーSFKオーケストラ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京など国内外のオーケストラと共演。

2枚のCD《ブラームス Neue Bahnen》《CONTRAST》（オクタヴィア・レコード）は各誌で選出。「彼女の強靭な指先は作曲家が一音一音に託した細やかなニュアンス

を克明に表す」と推薦された。

桐朋学園大学音楽学部、同研究科を修了。ベルリン芸術大学を最高位で卒業。平成29年度文化庁新進芸術家在外研修員としてザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学大学院に在籍し卒業。これまでにジャック・ルヴィエ、ズラータ・チョチエヴァ、二宮裕子、小森谷泉、土肥由美子、山本光世の各氏に師事。現在、桐朋学園大学非常勤講師、同附属子供のための音楽教室（仙川教室・お茶の水教室）非常勤講師。令和元年度藤沢市生涯学習特別貢献賞受賞。

公式ウェブサイト

<https://www.misakomihara.com>

公式Facebook

<https://www.facebook.com/misako.mihara/>

公式X

https://x.com/misa821_honey

公式Instagram

<https://www.instagram.com/misakomihara/>

自己アピール

4歳からピアノを始め、幼稚園の七夕では「歌って踊れるピアニスト」になりたいと書いた私ですが、いつか本物のピアニストになりたいと願い30年以上ピアノを弾いています。小さい時から舞台上で弾くことが好きで、発表会は一大イベント。いつも背伸びした曲を演奏できるようにはりきっていたのを覚えています。

大学卒業後に留学し、計4年半ほどヨーロッパで過ごしました。感動ありトラブルありの駆け巡るような日々でしたが、文化の違い、季節の変化、全てが刺激的で新しく、20代後半をヨーロッパで過ごせたことを幸せに思います。今まで引込み思案だった考え方もポジティブになり、表現することも怖くなくなり、そういった自分自身の変化も好きになりました。

帰国後から未就学児の小さなお子さんからピアノレッスンでの指導を始め、現在は小学生～大学生の幅広い年代のピアニストと接し、自由な発想や多角的な価値観に私自身も学びある日々です。

アウトリーチ活動は過去に経験があり、ヴァイオリニストとの同行で小学校へ伺ったり、ワークショップを一緒に行って参りましたが、ピアノソロでは新たな挑戦となります。

日頃、特に子供たちと接する際は仲良くなれるようにポジティブなコミュニケーションを心掛け、また、わかりやすく説明しながらお話しをするようにしております。アクティビティでは特に初めて会う子供たちと同じ目線でピアノという楽器に注目し、音楽と一緒に感じたり考えてみるきっかけの時間となるようにしたいと思っております。

ソロやコンチェルト、室内楽などジャンルに捉われず演奏会に出演させていただき、新たなレパートリー開拓に励んでおります。ブラームスだけでなく、バッハからラフマニノフなどの20世紀以降までの作曲家、それぞれの言葉を感じられる人になりたいと日々努めており、クラシック音楽を好きな人にも、初めてという方にも、演奏を通して作曲家の時代背景やメッセージが伝えられる音楽家になりたいと思っております。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

◆アクティビティ

限られた時間だからこそ、演奏する側／聴く側とにならないようコミュニケーションを一番大切にしながら、子供たちとの距離感を作らない空間作りを心掛けたいです。

○楽器の振動を感じよう

ピアノの音ってどこまで響く？楽器の響き（振動）を感じる時間。

ピアノの中を見ながら音の鳴り方を発見し、その音がだんだんと小さくなる余韻などを体感してもらうため、ピアノの脚に触れながら、響板に耳を寄せながら、あるいは部屋の一番遠くに行き響きがどこまで続くか体感してみます。「シューマン：トロイメライ」などを演奏しながら、自分の好きな響きを見つけていってほしいです。

○リズムで共演

みんなでリズムを一緒に感じられる作品があります。例えば「ラヴェル：道化師の朝の歌」ではスペインの要素があるため冒頭にフラメンコのリズムが際立ちます。みんなで手拍子（可能ならカスタネットを配布して）で数小節ピアノと一緒に演奏し、合奏体験をしていきたいです。

○音楽の後ろにはどんな背景が広がる？

作曲家たちがどんなイメージで曲を書いているのか…ピアノのドレミの音の後ろに見える素敵な詩の引用や、踊りや情景などをお話しし、曲の中から広がる世界観を捉えていきます。

例えば、「ドビュッシー：亜麻色の髪の乙女」の亜麻色ってどんな色？などヒントを共有したり、作曲家のちょっとしたエピソードも交えながら作品の中身を紐解いていきます。子ども達の自由な発想を引き出しながら想像力を膨らませるきっかけに繋がればと思います。

◆コンサート

プログラムは初めての方でも楽しみながらお聴きいただけるような内容とし、緩急ある作品で構成します。日頃より演奏の合間ではトークを挟むことで内容がわかりやすかったなどと好評を頂いており、演奏と併せて作品をお伝えできるように努めております。

聴いたことがあるような親しみやすい作品と、ここぞの一曲で私とその時好きな作品と、本格的な演奏でお届けしたいと思っております。

演奏可能プログラム

- ・J.S.バッハ：フランス組曲 第3番、第5番、パルティータ 第2番、第3番、トッカータ
- ・J.S.バッハ＝ブゾーニ：無伴奏パルティータ第2番より「シャコンヌ」
- ・ベートーヴェン：ピアノソナタ 第8番「悲愴」、第13番「幻想」、第14番「月光」、第17番「テンペスト」、第21番「ワルトシュタイン」、第23番「熱情」、第30番 ホ長調、第31番 変イ長調
- ・メンデルスゾーン：無言歌集より、ロンド・カプリチオーソ、厳格なる変奏曲
- ・シューマン：子供の情景、ピアノソナタ第2番、天使の主題による変奏曲
- ・ブラームス：ピアノソナタ 第3番、「愛のワルツ」、子守唄、2つのラプソディ、7つの幻想曲集 Op.116、3つの間奏曲集 Op.117、6つの小品 Op.118、4つの小品 Op.119
- ・リスト：2つの伝説 第2番「波を渡る聖パウロのフランチェスコ」、ピアノソナタ 短調、愛の夢第3番、パガニーニによる大練習曲 第3番「ラ・カンパネッラ」、第6番「主題と変奏」
- ・シューマン＝リスト：獻呈
- ・シューベルト＝リスト：「糸を紡ぐグレートヒェン」「アヴェ・マリア」
- ・ショパン：スケルツォ第2番、バラード全4曲、ピアノソナタ第2番・第3番、「華麗なる大円舞曲」、「猫のワルツ」、「子犬のワルツ」、幻想即興曲、幻想ポロネーズ
- ・ドビュッシー：前奏曲集より「亜麻色の髪の乙女」「花火」、ベルガマスク組曲より「月の光」、アラバスク第1番
- ・ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ、鏡より「悲しき鳥たち」「道化師の朝の歌」、夜のガスパール
- ・スクリャーピン：練習曲「悲愴」
- ・ラフマニノフ：前奏曲「鐘」、練習曲集「音の絵」より、ピアノソナタ第2番（改訂版）
- ・チャイコフスキー：ドゥムカロシアの農村風景－Op.59、18の小品より「性格的舞曲」「瞑想曲」
- ・バルトーク：ルーマニア民族舞曲
- ・リゲティ：練習曲集より「ワルシャワの秋」「魔法使いの弟子」



©Yukiko Shibuya

す ず き ま い

鈴木 舞

▶ジャンル

ヴァイオリン

▶所属マネジメント

株式会社ブルーシート

〒107-0061

東京都港区北青山2-7-13 プラセオ青山ビル 3F

TEL : 03-6275-1616

担当マネージャー：

渡辺 誠司 watanabe-s@b-sheet.jp

▶アーティスト所在地

神奈川県川崎市

▶アーティスト出身地

神奈川県川崎市

プロフィール

国内外で活躍するヴァイオリニスト。卓越したテクニックと豊かな音楽性で聴衆を魅了し、ソリストとして欧州、アジア、南米ツアー等、世界各地でリサイタルやオーケストラに招かれ、精力的に演奏活動を重ねている。

研鑽歴

東京藝術大学附属高校、同大学を卒業。ローザンヌ高等音楽院（スイス）、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学（オーストリア）、ミュンヘン音楽・演劇大学（ドイツ）で計8年間の研鑽を積み、ディプロマおよびドイツ国家演奏家資格を取得。清水高師、ピエール・アモイヤル、インゴルフ・トゥルバン各師に師事。

2012-13年度 文化庁芸術家在外派遣研修員

2015-16年度 ローム ミュージック ファンデーション 奨学生

2017-19年度 メニューイン・ライブミュージック・ナウ（ドイツ）奨学生

主な受賞歴

2005年 大阪国際音楽コンクールグランプリ

2006年 高校2年生で日本音楽コンクール第2位

2007年 チャイコフスキー国際コンクール最年少セミファイナリスト

2011年 アンリ・マルトール国際コンクール（ドイツ）ファイナリスト

2013年 ヴァーツラフ・フムル国際コンクール（クロアチア）優勝

オルフェウス室内楽コンクール（スイス）第1位

2016年 スピヴァコフ国際コンクール（ロシア）第2位

2018年 コープ ミュージックアワード室内楽コンクール（イタリア）第2位

活動歴

国内外のオーケストラと共演し、これまでにニコラス・ミルトン、ヨルマ・パヌラ、小林研一郎、円光寺雅彦らの指揮のもと、読売日響、東響、日本フィル、スイス・ローザンヌ室内管、ドイツ・ホーフ響、クロアチア放送響などとソリストを務めてきた。

また、宮内庁主催の皇居桃華楽堂御前演奏会に出演。NHK-FMリサイタル・パッシオに出演。シャネル・ピグマリオン・デイズ・アーティストに選出。サントリーホール、王子ホールなど主要ホールで公演を重ねている。

近年では、日本の伝統文化とのコラボレーションにも意欲的に取り組み、日本舞踊五耀會、尾上流・尾上菊保、尾上菊之丞との共演のほか、胡弓奏者・高橋翠秋、箏奏者・米川敏子とのアンサンブルも好評を博している。

録音

東京交響楽団と録音したベートーヴェン、マスネの演奏が日経ミュージックセレクションCDに収録。

デビューアルバム『Mai favorite』（キングレコード）は、レコード芸術誌にて準特選盤に選出された他、三菱一号館美術館「ルドン、ロートレック展」のオーディオガイドに採用される等、録音活動でも高い評価を得ている。

2025年3月には、ピアニスト福原彰美とのデュオCD『翼』（ティートックレコーズ）をリリース。

使用楽器

株式会社atsumariを通じて貸与されている1682年製のNicolo Amati “Grand Amati”で、ストラディバリウスを含む三大銘器のうちの一つ。

自己アピール

●音楽に向き合うことは、人と向き合うこと

私にとって音楽は、ただ美しく演奏するものではなく、「生きること」と深く結びついています。幼い頃から、嬉しい時も、辛く苦しい時も、常にそばにあり、音楽が持つ「心を受け止め、包み込む力」に支えられ、救われてきました。そして、演奏活動が続ける中で、音楽が、演奏を聴いてくださる方々にも同じような影響を与える瞬間を目の当たりにしてきました。

これまで、多くの国や地域で演奏する機会に恵まれましたが、特に印象に残っているのは、福祉施設や病院での演奏です。長年感情を閉ざしていた方が涙を流しほほ笑む瞬間、寝たきりの方が演奏を聴いて目を覚まし、家族と再び会話を交わす瞬間 — 音楽が、言葉を超えて人の奥深い部分に触れ、心に光を灯す場面に立ち会いました。こうした経験から、私は、演奏を通じて人と真剣に向き合い、心を通わせる音楽を届けたいと考えています。

●私が音楽に込める想い

私の演奏について、「圧倒的な表現力がある」「同じ曲でもあなたが弾くと凄みを感じる」と言ってくれたいことがあります。それは、楽譜の奥にある作曲家の想いを深く掘り下

げ、そこに自分自身の経験や感情を重ねてきたからだと思います。私は、演奏とは単に音を再現することではなく、音楽が持つ力を引き出し、それを聴く人と共有することだと思います。

●銘器アマティとともに

現在、私は銘器アマティをお借りしています。ストラディバリの師として知られる名工アマティによる傑作“Grand Amati”。17世紀から大切に受け継がれてきたこの楽器は、長い歴史や人々の想いが宿り、深く豊かな響きを生み出します。私がこの楽器に惚れ込んだ理由は、美しい音色だけではなく、音楽の力をより「届けられる」素質があると感じたからです。この楽器が秘めた素質を最大限に引き出しながら、音楽の力をより多くの人に届けたいと思っています。

●音楽を「体験」として届ける

私が目指すのは、ただ聴くだけで終わるコンサートではなく、その場にいる全ての人が、音楽を通じて何かを感じ、考え、心を揺さぶられるような体験です。この事業を通じて、それぞれの地域や聴衆に寄り添ったコンサートを創り上げ、音楽が持つ力を感じられる体験を届けたいと考えています。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

●心に届くコンサート

コンサートについては、私の表現力と銘器アマティの豊かな響きを生かし、聴衆が能動的に関われる音楽体験を創ります。例えば、曲の背景とともに、作曲家の言葉を越えた想いを共有することで、より身近にかつ深く味わえ、また、有名な楽曲も全く違う聞こえ方となることを体感できるプログラムを目指します。

●音楽の可能性を広げるアウトリーチ

アウトリーチでは、音楽を「受け取るもの」から「感じ、考え、さらには表現するもの」へ。資格を取得した対話型芸術鑑賞の手法を活かし、自由に感じ、表現できる場を目指した、想像力と感性を育むプログラムを実践します。

- ・アウトプットの機会作り：「この音からどんな動物が見える？」「どんな風景が浮かぶ？」などと段階的に問いかけ、言葉や絵で表現する機会を作る。
- ・感情と経験の結びつき：楽曲の持つ感情や流れを感じ取り、自分自身の経験と重ねて考える。
- ・ヴァイオリンをより身近に：楽器の特性や表現の幅を実際に体感する。

●シチュエーションに合わせたプログラム作り

音楽は、場所や聴く人によって響き方が変わるものです。私はこれまで、ホスピス、依存症の回復施設、戦争や迫害の記憶を持つ方々の集いなど、様々な背景を持つ人々のもとで演奏し、それぞれの聴衆に寄り添ったプログラムを作ってきました。また、絵画・舞踊・朗読・邦楽など異なる芸術とのコラボや、お寺・庭園・キャンプ場など多様な環境での演奏を経験し、相手や場の特性を生かした選曲や演出を工夫してきました。こうした経験から、福祉やコミュニティの場では心に寄り添い、歴史的建築物では響きを生かし、野外では自然と調和するプログラム等、それぞれのシチュエーションを最大限に活かした音楽体験を届けます。

●音楽の力を各地へ届けるために

この事業を通じて、音楽が人の人生に寄り添い、心を照らす存在であることを、より多くの方に実感していただきたいと考えています。地域の特色や空間を活かした演奏、対話を重視したアウトリーチなど、場や聴衆に合わせたプログラムを作ります。「ここだけの特別な時間」を、ともに創り、共有できることを心から楽しみにしています。

演奏可能プログラム

バロックから現代音楽、叙情的な作品から超絶技巧を要する楽曲まで幅広く、ソロ、室内楽、オーケストラとの共演など、様々なシチュエーションに柔軟に対応できます。他芸術とのコラボレーションの多様な表現と融合したプログラムも積極的に展開しています。

【3～5分の小品】

◆クライスラー：愛の喜び／愛の悲しみ／美しきロスマリ／中国の太鼓、スラヴ幻想曲／ウィーン奇想曲◆モンティ：チャルダッシュ◆ラフマニノフ：ヴォカリーズ◆ドビュッシー：美しき夕暮れ／月の光／亜麻色の髪の乙女◆フォーレ：夢の後に／シシリエンヌ◆サン＝サーンス：白鳥◆ショパン：ノクターン◆マスネ：タイスの瞑想曲◆シューベルト：アヴェマリア◆エルガー：愛の挨拶◆ドヴォルザーク：ユーモレスク／スラヴ舞曲／我が母の教えたまひし歌◆ブラームス：ハンガリー舞曲◆チャイコフスキー：メロディ◆プロコフィエフ：3つのオレンジへの恋／5つのメロディ◆パガニーニ：カンタービレ／24のカプリスより◆ピアソラ：リベルタンゴ／鮫◆信長貴富：きらめく5月よ、そよぐ大樹よ◆平川加恵：さくらさくら変奏曲

【10～15分の小品】

◆サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン／カルメン幻想曲／ハバネラ◆ラヴェル：ツィガーヌ◆サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ／死の舞踏／ハバネラ◆ショーソン：詩曲◆タルティーニ：悪魔のトリル◆シューベルト：華麗なるロンド◆ピアソラ：ル・グランタンゴ

【ソナタ・組曲などの大きな作品】

バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、フランク、サン＝サーンス、ブラームス、フォーレ、ヤナーチェク、イザイ、ドビュッシー、ラヴェル、エネスコ、ストラヴィンスキ、プロコフィエフ、等

き た が き あ や

北垣 彩

▶ジャンル

チェロ

▶所属マネジメント

株式会社パシフィック・コンサート・マネジメント
〒104-0043

東京都中央区湊3-10-11 第2山内ビル5F
TEL : 03-3552-3831 FAX : 03-3553-4800

担当マネージャー：

古澤昌晃 furusawa@pacific-concert.co.jp

▶アーティスト在住地

埼玉県蕨市

▶アーティスト出身地

大阪府柏原市

プロフィール

音楽研鑽歴

東京藝術大学器楽科卒業。令和元年度文化庁新進芸術家海外研修員としてライブツイヒへ留学、2020年にフェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ音楽演劇大学修士課程を首席で修了。帰国後、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。

- 第69回全日本学生音楽コンクール大学の部第3位
- 第24回姫路パルナソスコンクール第1位及び池辺晋一郎特別賞
- 第1回ポッパーチェロコンクール第1位
- 第9回NPO法人芸術・文化若い芽を育てる会第1位及び聴衆賞
- 第12回泉の森ジュニアチェロコンクール高校の部銀賞等入賞多数

これまでに杉山實、林裕、安藤信行、山崎伸子、中木健二、ペーター・ヘル、ヴェロニカ・ヴィルヘルム、クリスティアン・ギガーの各氏に師事。

音楽活動歴

サントリーホール室内楽アカデミー第4期フェロー。
小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト、サイトウキネンフェスティバル、小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、リゾナーレ室内楽セミナー、秋吉台ミュージック・アカデミー、アトリオン国際室内楽アカデミー等に参加。
サントリーチェンバーミュージックガーデン、霧島国際音楽祭、ラフォルジュルネ等多数の音楽祭に出演。
藝大室内楽定期、池辺晋一郎芸術監督シリーズ音楽をのぞいてみよう第2回（シューベルト）、第3回（バッハ）、パルナソス朝のハーモニー、日本演奏連盟主催新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ大阪第49回（住友生命いずみホール）、マグノリアサロンコンサート、すばるアフタヌーンコンサート等のシリーズに出演。

日本国内のみならずシンガポール（ヴィクトリアコンサートホール）及びドイツ（ゲヴァントハウスライブツイヒ）等にて演奏会に出演。

国内主要オーケストラにて客演奏者として演奏する傍ら、後進の指導にも力を注ぐ。

元新日本フィルハーモニー交響楽団契約団員。

自己アピール

私は4歳の頃、世界的チェリスト ヨーヨー・マの演奏をテレビで観たことがきっかけでチェロに魅了され、チェロを弾きたいと両親にお願いして始めました。私は「夢中になれるものを見つけよう」ということを皆さんに1番伝えたいです。私自身、「チェロ」という夢中になれるものを見つけられたことによって世界が広がり、大切な人とも出会えて人生が豊かになりました。

ドイツのライブツィヒに留学していた頃、はじめての海外でのひとり暮らしで言葉の壁もあり孤独感を強く感じました。特に冬は常に曇り空で太陽の光を浴びることができず、気持ちが暗くなる日がありました。そんな時でもチェロが大好きという気持ちは無くならず、挫けずに頑張ることができました。レッスンを録音して繰り返

し聞いてわからない言葉を辞書で調べ、次のレッスンで更にレベルの高い指摘をしてもらう為に一生懸命練習した当時は、とても苦しくて留学していない同級生達が働き出したりしているのに自分はまだ学生で焦る気持ちもありました。

ですが、しっかりと音楽に向き合う時間が取れたので毎週末コンサートを聴きに行き、ライブツィヒ音楽演劇大学ではペーター・ヘル先生、プライベートではゲヴァントハウスオーケストラ首席チェロ奏者のクリスティアン・ギガー先生に毎週2回レッスンを受け、バロックから近現代まで幅広いレパートリーを学ぶことができました。ドイツで学んだ沢山のレパートリー曲に親しみやすい曲を織り交ぜながら皆さんにお届けしたいです。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

演奏会では客席から舞台と距離がありますが、アクティビティでは自分の周りを囲んでもらったりと近くでダイレクトに生の音の振動や響きを感じられるのが魅力のひとつだと私は考えています。

アクティビティを行う際、皆さんが触ることのできる「弦」や「弓」等を準備して、ただ聴くだけではなく自ら参加できるアクティビティを行います。実際に触れることで自分とは全く関係のないと思っていたものでも親しみを感じやすいので私の大好きな「チェロ」という楽器を知ってもらう第一歩にしたいです。

普段クラシック音楽を聴かないと思っている人でも店内のBGMやTVのCM等でクラシック音楽はよく使用されているので、あれ？このメロディー知っているな？なんていう曲が実は沢山あると思います。そんな聴いたこ

とがあるぞ！という曲も取り入れつつ、音楽や楽器についてのクイズをしたり体験コーナーを作ったりと多角的に音楽にアプローチして皆さんの記憶に残る楽しいひとときにしたいです。アクティビティでは垣根を低く、親しみやすいプログラムを心がけ、もっと知りたい聴いてみたいと思ったらコンサートで本格的な音楽を聴いてもらうという流れにしたいです。

音楽に興味はあるけれど、クラシック音楽は何となく堅苦しくて難しそうと思っている人が多いと思います。クラシック音楽が好きな人と好きではない人、この違いはこれまでの人生で音楽とどれだけ関わりがあったかということなのではないかと私は考えています。いままであまりクラシック音楽に触れる機会がなかった方々にも私が全国各地を巡って音楽の愉しさを伝えたいです。

演奏可能プログラム

- ・バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 BWV1007、第2番 二短調 BWV1008、第3番 八長調 BWV1009、第4番 変ホ長調 BWV1010、第5番 八短調 BWV1011、第6番 二長調 BWV1012
- ・ベートーヴェン：チェロソナタ 第1番 へ長調 Op.5-1、第2番 ト短調 Op.5-2、第3番 イ長調 Op.69、第4番 八長調 Op.102-1、第5番 二長調 Op.102-2、魔笛の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 WoO.46
- ・メンデルスゾーン：6つの歌（歌の翼に）Op.34、チェロソナタ第1番 変ロ長調 Op.45、第2番 二長調 Op.58、無言歌 Op.109
- ・ショパン：序奏と華麗なるポロネーズ Op.3、チェロソナタ ト短調 Op.65
- ・シューマン：アダージョとアレグロ Op.70、幻想小曲集Op.73、民謡風の5つの小品 Op.102
- ・ブラームス：チェロソナタ第1番 ホ短調 Op.38、第2番 へ長調 Op.99
- ・R.シュトラウス：チェロソナタ へ長調 Op.6
- ・サン＝サーンス：チェロソナタ第1番 八短調 Op.32、第2番 へ長調 Op.123、動物の謝肉祭（白鳥）
- ・フォーレ：夢のあとに Op.7、エレジー Op.24、ロマンス Op.69、シシリエンヌ Op.78、チェロソナタ第1番 二短調 Op.109、第2番 ト短調 Op.117
- ・ラフマニノフ：チェロソナタ ト短調 Op.19、ヴォカリーズ Op.34-14
- ・ショスタコーヴィチ：チェロソナタ 二短調 Op.40、ジャズ組曲 第2番（ワルツ）
- ・プロコフィエフ：チェロソナタ 八長調 Op.119
- ・リムスキー＝コルサコフ：熊蜂の飛行
- ・ポッパー：妖精の踊り Op.39、セレナーデ Op.54-2、ハンガリアンラプソディー Op.68
- ・グラスノフ：吟遊詩人の歌 Op.71
- ・パガニーニ：モーゼの主題による変奏曲

他



や ま ざ き

ゆ き

山崎 由貴

▶ジャンル

ユーフォニアム

▶所属マネジメント

株式会社パシフィック・コンサート・マネジメント

〒104-0043

東京都中央区湊3-10-11 第2山内ビル5F

TEL : 03-3552-3831 FAX : 03-3553-4800

担当マネージャー：

古澤昌晃 furusawa@pacific-concert.co.jp

▶アーティスト在住地

東京都板橋区

▶アーティスト出身地

静岡県浜松市

プロフィール

静岡県浜松市出身。4歳よりピアノをはじめ、10歳で小学校の金管バンド部でユーフォニアムと出会う。中学校では吹奏楽部に所属し、ソロ・コンテスト全国大会で金賞を受賞。これをきっかけにユーフォニアム奏者を志す。

浜松海の星高等学校へ進学し、全日本吹奏楽コンクールにも出場する。

日本におけるユーフォニアム演奏の第一人者、露木薫氏に深く憧れ、同氏が教授を務める名古屋音楽大学へ進学する。在学中、学生ソロ・コンクールで優勝するなどの実績を重ね、首席で卒業。卒業時にはすべての新人演奏会に推薦され、第87回読売新人演奏会、第39回読売中部新人演奏会、第17回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。さらに、露木薫教授のもとで研鑽を積むため、東京藝術大学別科へ進学し、修了。

2018年、2020年、2022年には韓国・済州島で開催されたチェジュ国際金管打楽器コンクール・ユーフォニアム部門において、3大会連続で第3位を受賞し、国際的にも注目を集める。

2023年、第38回日本管打楽器コンクール・ユーフォニアム部門で第1位を獲得。さらに、全開催部門の1位受賞者が競う大賞演奏会において、ユーフォニアム奏者と

して史上2人目、31年ぶりとなる特別大賞、内閣総理大臣賞を受賞。文部科学大臣賞、東京都知事賞を併せて受賞し、大きな話題を呼んだ。

ソリストとして吹奏楽団と共演するほか、リサイタル活動を精力的に展開。また、オーケストラの客演奏者としても活躍の場を広げている。NHK-FM「リサイタル・パッショ」にも出演。

また教育活動にも力を注ぎ、静岡県立沼津西高等学校音楽科および蒼羽藝術高等専修学校芸術科で非常勤講師を務めるほか、一般財団法人地域創造/公共ホール音楽活性化事業の登録アーティストとして、地方での音楽普及活動にも積極的に取り組んでいる。

また、Euphonium Quintet「狛狼座（こまいぬざ）」およびユーフォニアム・チューバ・アンサンブル「Ueno Bass Clef」のメンバーとして、同族楽器でのアンサンブルの可能性も追求し、ユーフォニアムの魅力を広く発信している。

ユーフォニアムのさらなる可能性を探求し、その音色と表現を通じて、多くの聴衆に感動を届けることを目指している。

SNS (x) <https://x.com/yukiria08>

自己アピール

ユーフォニアムが好き！！この楽器は、私の人生そのものです。嬉しい時も、悩んだ時も、いつもそばにあり、その温かく包み込むような音色が私を支えてくれました。ユーフォニアムは、ギリシャ語の“Euphonos”（良い響き）を語源とし、人の心にそっと寄り添い、深い感動をもたらす特別な楽器です。

これまで国内外のコンクールや多くのステージで演奏し、技術と表現力を磨いてきました。ときには壁にぶつかり、悩むこともありましたが、そのたびにユーフォニアムの響きが私を導き、新たな挑戦へと背中を押してくれました。

2023年、大きな賞を受賞したことをきっかけに、「ユーフォニアムを通じて私に何ができるのか」を改めて考えるようになりました。これまでは、音楽を通して多くの方々に支えられ、たくさんものを受け取ってきました。これからは、私自身が音楽の力で人と人をつなぎ、心に寄り添う存在になりたいと強く願っています。

ユーフォニアムは、決して知名度の高い楽器ではありません。しかし、それゆえに、まだ誰も気づいていない魅力や可能性が無限に広がっています。「こんな美しい音色があるなんて」「心が温かくなった」「また聴きたい」——そんな言葉をいただくたびに、ユーフォニアムの持つ力を改めて実感します。その響きを通じて、人と人とのつながりを深め、心が震えるような瞬間を届けたい。そう思いながら、一音一音を大切に奏でていきます。

音楽には、言葉を超えて心を動かす力があります。演奏を聴いた方が、ふと懐かしい思い出を思い出したり、言葉にならない感情があふれたりする。そんな特別な時間を生み出せる演奏を目指し、ユーフォニアムとともに全国各地にお邪魔できればと思っています。

地域の皆さんや子どもたちと、ユーフォニアムの響きを通じて心が通い合う瞬間を共有できることを、心から楽しみにしています！

この事業でできること、挑戦してみたいこと

ユーフォニアムの響きには、人の心を惹きつける力があります。私自身、この楽器に出会ったことで世界が広がり、音楽の楽しさを知ることができました。おんかつの活動を通じて、その魅力を伝えながら、地域の皆さんとともに「今できる最大限のこと」を考え、実現していきたいと思っています。

まず大切にしたいのは、地域の方々と意見を出し合いながら、その土地ならではの特別な企画を作り上げることです。たとえば、地元の伝統芸能や自然環境と音楽を結びつけることで、新たな文化の発見につながるかもしれません。異なるジャンルの方々とのコラボレーションにも挑戦し、音楽の可能性を広げていきたいです。

また、演奏をただ聴くだけでなく、五感で楽しむ体験型のプログラムも取り入れたいと考えています。実地研修では、コピー用紙2枚を使って唇の振動を感じるワークショップを行い、楽器を吹く感覚を体験してもらいました。最初はうつむいていた子が、最後には積極的に手を上げ感想を発表して

くれた姿に、とても心動かされました。

ユーフォニアムは、歌うようなやわらかい音色が特徴の楽器ですが、超絶技巧もこなせる“スーパー楽器”でもあります。その魅力をより多くの人に知ってもらうため、生演奏の場を大切にしていきたいです。最近では配信サービスの発展により、どこでも音楽を聴けるようになりましたが、私は演奏者と観客が同じ空間で時間を共有することで生まれる臨場感やエネルギーを何よりも大切にしたいと考えています。

また、ホールに足を運ぶことが難しい方々にも、生の音楽を届けたいと思っています。訪問演奏や、地域の子どもたちと一緒に作る参加型のコンサートなど、一人ひとりに寄り添った活動を通して、音楽を身近に感じてもらいたいです。

ユーフォニアムの魅力は未知数です。この楽器だからこそできること、そして「今」だからこそ生まれる音楽の可能性を、地域の皆さんとともに探し、形にしていきたいと思っています。

演奏可能プログラム

- ・ E.エルガー／愛の挨拶
- ・ M.モノー／愛の讃歌
- ・ P.スパーク／パントマイム
- ・ P.スパーク／イナノ歌
- ・ P.スパーク／ユーフォニアム協奏曲第1番
- ・ G.リチャーズ／ミッドナイト・ユーフォニアム
- ・ G.フォーレ／夢のあとに
- ・ P.グラハム／ホーリーウェル
- ・ ナポリ／ナポリ民謡（フニクリフニクラ）による変奏曲
- ・ 伊藤康英／3つのロマンス
- ・ M.ケンツビッチ／ユーフォニアム協奏曲「皇帝」
- ・ 村松崇継／いのちのうた
- ・ J.ファンメル／幻想曲
- ・ F.ブリッジ／4つの小品

ほか



お の で ら ひ か る

小野寺 光

▶ **ジャンル**

声楽／バスバリトン

▶ **所属マネジメント**

公益財団法人日本オペラ振興会

〒151-0061

東京都渋谷区初台2-5-8 豊国ビル102

TEL：03-6721-0995 FAX：03-6721-0997

▶ **担当マネージャー：**

菅 若菜 suga@jof.or.jp

▶ **アーティスト所在地**

神奈川県川崎市

▶ **アーティスト出身地**

岩手県盛岡市

プロフィール

音楽研鑽歴

岩手県立不来方高等学校普通科芸術学系音楽コース声楽専攻卒業

昭和音楽大学音楽学部声楽コース卒業。同大学院音楽研究科修士課程音楽芸術表現専攻声楽（オペラ）修了。

第3回立石信雄海外研修奨学金、昭和音楽大学下八川圭祐基金、同大学同侪会海外研修奨学金を得て、イタリアに留学。

第45回イタリア声楽コンクール・ミラノ大賞受賞。

2017年イタリア・ストレーザ国際声楽コンクール第1位。

音楽活動歴

2014年昭和音楽大学オペラ「夢遊病の娘」のロドルフォ伯爵でオペラデビュー。同学オペラでは、15年「フィガロの結婚」フィガロ、17年「ドン・ジョヴァンニ」レポレッロに出演し、同役は上海音楽院との交流公演として上海でも出演し好演を得る。18年「ファルスタッフ」タイトルロール、22年「フィガロの結婚」フィガロ、23年「愛の妙薬」ドゥルカマラーに出演。また、17年イタリア、マルティーナ・フランカのヴァッレ・デイトリア音楽祭にて「ジャンニ・スキッキ」タイトルロール及びシモーネに出演。藤原歌劇団には、19年「ランスへの旅」シドニー卿、21年「フィガロの結婚」フィガロ、「ラ・ボエム」コッリーネ、22年「コジ・ファン・トゥッテ」ドン・アルフォンソ、23年「劇場のわがままな歌手たち」ブローコロ、25年「ファルスタッフ」ピストーラで出演。またベルカントオペラフェスティバル イン ジャパンでは、「フランチェスカ・ダ・リミニ」グイード、ロッシーニ「小荘厳ミサ曲」のバスソロ、「ジュリエッタとロメオ」ロレンツォで出演するなど、国内外で活躍を始めている新進バス・バリトン。

藤原歌劇団団員。男声ヴォーカルユニット『URANO』メンバー。昭和音楽大学非常勤講師。

自己アピール

中学3年の夏、僕は6歳から打ち込んできた柔道を辞める決心をしました。というのも、膝に水が溜まるようになり、これ以上柔道を続ける事が出来ない身体になってしまった為です。そこで、中学を卒業したら吉本興業の門を叩いてお笑い芸人を目指すか、あるいは高校で『声楽』を勉強するか、どちらかの道しか残されていない、と両親に相談をしました。その時の両親の何とも言えない表情を、僕は一生忘れないと思います。父親は少し固まった後、『声楽の勉強って何をするんだ…?』と僕に聞きました。そんな事、僕の方こそ知るわけがありませんでした。

僕は小さい頃からとにかく歌うことが大好きでした。毎晩お風呂場で大きな声で歌う所為で、近所からクレームがきたこともあります。結局、歌が『好き』というだけで、音楽の道に進む決心をしました。そして、当時県内で唯一音楽を専門的に勉強する事が出来るコースがあった、岩手県立不來方高等学校に入学しました。高校に入学してからは、触れたこともないピアノと、楽典やソルフェージュといった、聞いた

こともない分野の勉強に取り掛かりました。これまで柔道だけに打ち込んできた小野寺選手（柔道初段）と、『声楽』という得体の知れない存在との戦いは、ここから始まったのでした。

何度も敗北を経験しながら、それでも歌う事をやめなかった小野寺選手は、歌が好きというだけで、大学を卒業する頃にはオペラ歌手を目指すようになりました。大学院を修了してイタリアに渡り、自分の『好き』がどれだけ通用するのか、異国の地でがむしゃらに挑戦しました。

何度も言いますが、僕は歌う事が大好きです。もう一つの『好き』であった、お笑い芸人という道を歩む事はもうないかもしれませんが、もしかしたらお笑い芸人の方々や舞台上でやっている事と、オペラ歌手として僕が舞台上でやっている事は、ある意味同じ事なのかもしれません。人の心に何かを届けたい、笑顔で家に帰っていただきたい。そして、僕の歌を聴いた子供達には、是非お風呂場で大きな声で歌を歌ってもらえたら幸せです。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

僕がまだ柔道少年だった小学生の頃、鑑賞教室の為に、県内出身のとあるピアニストの方が来校した事がありました。小学生の僕にとって、ただのただ広い空間でしかなかった体育館が、ピアノの演奏が始まるとあっという間に『劇場』に様変わりした事を、今でも鮮明に覚えています。音楽のおの字も知らない小学生の僕に『音楽って楽しい!』『ピアノの音って凄い!』と、強烈なインパクトを与えてくれたあの鑑賞教室は、大成功だったのではないかと思います。

このように、アウトリーチの活動を通して、クラシック音楽に触れた事のない方も、もともと好きな方も『もっと聴きたい!』『また聴いてみたい!』と、クラシック音楽の『おかわり』がしたくなったら大成功だと思えます。

クラシックという言葉から、なぜか少しだけ緊張感を感じ、敷居の高いイメージを持ってしまう方が多いため、まず私が一番に心掛けたいのは、『気楽』に『楽しく』聴くことができるようなプログラム構成です。そしてさらに、その『楽

しさ』の中でオペラの持つ『熱さ』や『魅力』を伝えることが出来るように工夫をしたいと思えます。

具体的に、私の声種であるバス・バリトンは、オペラでは喜劇的な役柄がとて多く、そういった役柄の特徴として、イタリア語の『早口の歌唱』が挙げられます。イタリア語の早口は、たとえ意味が分からなくとも、なんとなく聴いているだけで『凄い!面白い!』と思ってしまうものばかりです。そういった曲(アリア)をレパートリーとして準備できるのは、バス・バリトンという声種ならではだと思います。

また、コンサートの機会を頂いた場合も同様に、『オペラを気楽に楽しく』をモットーにプログラムを構成したいと思います。クラシックなんか興味がない、オペラなんか観たことがない、そういった方こそ僕のコンサートに足を運んでいただきたいです。僕の歌がキッカケで色々なジャンルのクラシックに興味を持っていただき、別の歌手の歌も『おかわり』したくなったら、大成功だと思えます。

演奏可能プログラム

日本歌曲

文部省唱歌：ふるさと
山田耕作：赤とんぼ、待ちぼうけ
中田喜直：夏の思い出
瀧廉太郎：荒城の月、花
平井康三郎：ふるさとの
宮沢賢治：星めぐりの歌 など

歌曲

トスティ：理想の人、君なんかもう
ドニゼッティ：結婚万歳
ベッリーニ：喜ばせてあげて、フィリッデの悲しい姿よ
ドナウディ：ああ、愛する人の など

オペラアリア

モーツァルト：《フィガロの結婚》より”もう飛ぶまいぞこの蝶々”
《ドン・ジョヴァンニ》より”奥様、これが恋人のカatalogです”
ロッシーニ：《セヴィリアの理髪師》より”わしのような医者に向かつて”
ドニゼッティ：《愛の妙薬》より”お聞きください、村人の皆さん”
《ドン・パスクワレ》より”天使のように美しい”
ヴェルディ：《ドン・カルロ》より”ひとり寂しく眠ろう”
《シモン・ボッカネグラ》より”衰れなる父の胸は”
プッチーニ：《ラ・ボエーム》より”古い外套よ”
ビゼー：《カルメン》より”闘牛士の歌”
など

MEMO

A large rectangular memo template with a teal border. The border has rounded corners at the top and bottom. Inside the border, there are 20 horizontal dotted lines for writing, spaced evenly down the page.

Artists Profile

2025・2026

公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）2025・2026 年度登録アーティスト プロフィール

発行 一般財団法人 地域創造
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11オリックス赤坂2丁目ビル9階
Tel:03-5573-4050 Fax:03-5573-4060

協力 一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-24-9
五反田パークサイドビル5F
Tel:03-5488-6777 Fax:03-5488-6779

発行日 令和7年4月



一般財団法人 地域創造
Japan Foundation for
Regional Art-Activities